

4 学びの支援

主担当部局(長)名
地域振興部長 山下 保典

目指す姿

県民一人一人が学び、育ち合い、潜在力を最大限引き出すことのできる地域社会を目指します。

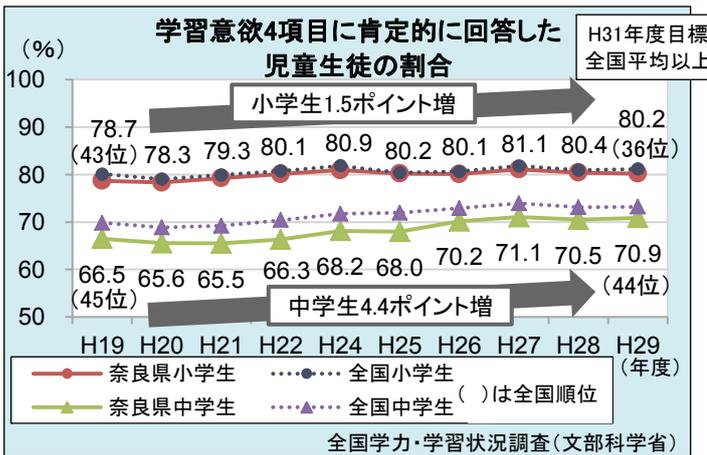


グループによる話し合いの発表

主な成果

- ・自尊心を醸成する取組等により、「自分にはよいところがある」と回答する小学生の割合は、平成24年度から0.6ポイント上昇し、76.2%となりました。
- ・各学校で体力向上推進計画の実行等に取り組んだことにより、小学生の体力はほぼ全国平均レベルとなり、中学生の体力は全国レベルを上回りました。
- ・シニアカレッジの受講生による交流や自主的・継続的な学びの活動が広がりました。(平成30年4月～平成30年度シニアカレッジ開講中)

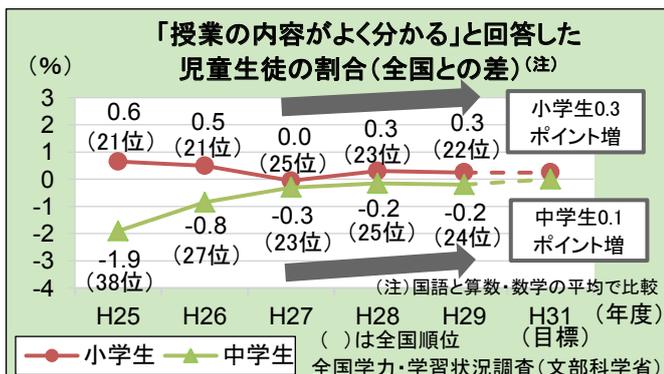
1. 政策目標達成に向けた進捗状況



目標	平成31年度までに、学習意欲の高い子どもの割合を全国平均以上にします。
成果	奈良県学力・学習状況調査の結果分析による課題の検証、学習意欲の向上を目指した授業改善の推進、「家庭学習の手引」の活用促進、主体的な学習習慣を身につけさせる取組等により、学習意欲4項目(教科が好き、よく分かる、大切、役に立つ)に肯定的に回答した児童生徒の割合は、平成19年度と比較すると、全国平均との差は小学生で0.4ポイント、中学生で1.0ポイント縮まりました。

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略目標	<p>①平成31年度までに、「自分にはよいところがある」と回答する子どもの割合を全国平均以上にします。(H27年度:小学生76.2%〈76.4%〉、中学生64.9%〈68.1%〉)</p> <p>②平成31年度までに、1週間の総運動時間が60分未満である子どもの割合を全国平均以下にします。(H27年度:小学生男子7.9%〈6.6%〉、小学生女子15.2%〈13.0%〉、中学生男子8.1%〈7.1%〉、中学生女子23.5%〈21.0%〉)</p> <p>③平成31年度までに、「授業の内容がよく分かる」と回答する子どもの割合を全国平均以上にします。(H27年度:小学生国語83.0%〈82.0%〉、小学生算数79.9%〈81.0%〉、中学生国語72.6%〈74.3%〉、中学生数学72.7%〈71.6%〉)※〈 〉内は全国平均</p>
------	--



目標	平成31年度までに、「授業の内容がよく分かる」と回答する子どもの割合を全国平均以上にします。(H27年度:小学生国語83.0%〈82.0%〉、小学生算数79.9%〈81.0%〉、中学生国語72.6%〈74.3%〉、中学生数学72.7%〈71.6%〉)※〈 〉内は全国平均
成果	県立教育研究所研修講座の充実等の取組により、平成29年度に「授業の内容がよく分かる」と回答した児童生徒の割合は、小学生では全国を上回り、中学生でもほぼ全国と同程度となりました。